

「防災」から「命あふれる憩いの場」へ。舞の里小の先進的「雨庭」プロジェクト、次世代へ継承

防災と環境の融合を目指す、舞の里小学校5年生の「地域学校協働活動」が新たな進化を遂げている。令和7年度に当時の5年生（現6年生）が、環境省や古賀市環境課、九州大学、地域の専門家らと協働して校内の中庭に設置した都市型防災施設「雨庭（あめにわ）」。

この画期的な減災のバトンを受け継いだ令和8年度の5年生は、今年度、地域住民を巻き込みながら「生き物が集まる自然環境」への改良に挑む。さらに長年培われてきたビオトープの整備も並行し、人と自然の健康を守る「ワンヘルス」の理念を学校施設で実践・維持管理していく、全国的にも稀に見る先進的な環境教育の最前線を追った。

実施日時 令和8年 6月18日（木）8時50分～

- ・ **最大の目玉：【最先端の環境理念「ワンヘルス」の実践】** 「防災（雨庭）」をベースにしながら、「環境・生物多様性」へと活動を広げ、総合的な「命の尊さ」を学ぶ場になっている点。
- ・ **特徴：【単なる維持ではなく「アップデート（改良）」】** 先輩が作ったものをただ守るだけでなく、自分たちのアイデア（地域を巻き込んで自然に近くする）をプラスして進化させている点。
- ・ **活動の価値：【地域との連携】** 小学校の授業でありながら、環境省や大学教授といった「本物のプロ」が関わった本格的なプロジェクトである点。

お世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

【問い合わせ先】

古賀市立舞の里小学校 教頭 濱畑由美

TEL 092-942-0381